

令和6年度 狭山市立 学校(幼稚園)学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
 B：概ねできている。(85%以上)
 C：あまりできていない。(70%以上)
 D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	不登校対策に力を入れ、「一人も取り残さない学校」を目指した学校運営を行った。不登校の解消には課題が多いが、スペシャルサポートルーム「ムロ中ルーム」の取組をはじめ、個に応じた対応を丁寧に進めてきた。生徒アンケートでは、80%以上の生徒は各授業が「楽しい」と答えており、充実した学校生活が送れていると考えている。	○学校の重点は明確になっている。 ○学年間のつながりや学級の協力関係がしっかりできている。 ○SSRに専任の先生が配置され、効果的に活用されている。 ○行事等への参加も多様な方法が保証されているのは良い。 ○エアコンの効きが校舎・教室によってかなり違うことが分かり、何とか解決したい。 ○清掃はしっかりできている学校という認識がある。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	B		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A		
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	教師は研鑽を重ね、より良い授業づくりを目指しているが、生徒の理解度を図るアンケートでは、各授業の理解度は平均して8割弱が現状である。全国・県学力学習状況調査の結果からは、概ね県平均を上回る正答率となっており、一定の基礎学力が身についていると判断できる。保護者アンケートによると、家庭学習の習慣が定着している生徒は65%となっており、今後の課題である。	○落ち着いて学習に取り組んでいる。自習中も私語が全くないことは素晴らしい。 ○学習が遅れがちな生徒に個別指導を行う機会が持てると良い。 ○授業はよりICTを活用したほうが理解が進むかもしれない。 ○家庭学習を習慣として身に付けさせるには小学校との連携を強化することが必要。 ○県、全国学テの結果を見る限り基礎学力の定着は概ねできていると思われる。(3年英語は課題あり)
	7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A		
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B		
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。	D		
	10	児童生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。	C	明るいあいさつ元気な返事、時間を守る、正しい言葉遣い等をまとめた「当たり前10か条」を掲げた規律の意識化や、あいさつ・無言清掃を「台中ブランド」といった取組を行っているが、まだまだ課題である。保護者からのアンケートでも、多くの質問項目で90%超の肯定的回答がみられる中で、あいさつの項目は約80%の肯定的回答にとどまっている。	○台中ブランドの挨拶に関してはバツキがあるように思う。以前に比べると挨拶が減っている。こちらから挨拶をすと返ってくるが、生徒から先の挨拶ができると良い。 ○狭山台中当たり前10か条、台中ブランドの伝統がしっかり受け継がれている。 ○時間を守ることは大事で、それができていることは素晴らしいと思う。 ○学校だけでなく、家庭や地域でも積極的にあいさつをすることが大切なのではないかと思う。
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B		
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。	A		
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A		
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。	C	9割弱の生徒が体育の授業を楽しみにしており、昼休みに校庭に出て遊ぶ生徒も多い。一方で、体力テストの結果は低下傾向にある。健康面の指導については、虫歯の治療率の低さや朝食を食べない生徒の実態を考え、家庭と協力しながら推進していきたい。	○朝食を取ることで学習効率上がることはデータで証明できている。塾通いより朝食を大切にしてほしい。 ○体力の低下は、部活の活動時間が短くなったことも影響しているように思う。 ○体育科教員の意識改革が必要だと感じる。 ○健康や体力については、家庭環境にかなり影響されると思う。家庭の啓発が必要。
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A		
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。	C		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	情報提供、連携に関する保護者アンケートの項目はいずれも90%を超えているが、生徒が地域に出て活躍する場の創設等については、今後の課題と考えている。	○どう地域と関わっていくか、大人が関わらせて行くかが課題。SCSC推進員等を中心に生徒が地域の諸行事に積極的に関わる機会を増やせると良い。 ○小中連携はどうなっているのか見えない。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B		